

2016年

▶据置人勧を跳ね返し、初任給改善・両立支援制度の拡充を実現

厳しい情勢の下、翌年4月採用者の初任給を上げる「暫定初任給」を勝ち取る。また、家族の看護休暇（特別休暇）の取得対象者を中学生卒業の子までに拡大し、学級閉鎖も対象とさせるなど、仕事と家庭の両立に向け、今後につながる大きな改善を実現させた。

▶市職労創立70周年、市民とともに新たな一步を踏み出す

市民とともに取り組んできた労働組合の歴史を学び、さらに団結を強めようと、記念誌「結成70年 この10年の歩み」を発刊。

また、仕事に文化にと多方面で輝き続ける職員やOBとともに、「職員がみせる つくる 師走の文化祭」を開催。



▶嘱託職員労働組合を発足

正規も非正規も一緒に労働条件をめざすという従来のスタンスは変えることなく、より強力に運動を進めるための組織づくりとして、35年以上にわたって取り組んできた嘱託職員協議会の運動を基盤に、7月21日に「岡山市嘱託職員労働組合」を結成。

▶熊本地震被災地を力強く支援

被災地へ派遣される職員やボランティアなど被災地で奮闘する職員を支援していくため、市当局に緊急申し入れを行い、「避難所を宿泊場所とした職員について、帰岡した最初の勤務日を特別休暇とする」などの改善を勝ち取る。また、ボランティア移動用として組合宣伝カーを現地に一時提供し、併せて義援金を募り日本赤十字社に寄贈した。

できごと

- ・4月14日熊本地震発生。同月16日には阪神淡路大震災に匹敵するM7.2を記録。関連死を含め死者150人超、住宅被害約17万8000棟、うち約8300棟が全壊する惨事に。
- ・オバマ米大統領、現職として初めて広島を訪問し、原爆死没者慰霊碑に献花。
- ・選挙権年齢18歳引き下げ後、初の国政選挙となる参議院選挙が執行される。
- ・東京都知事選で小池百合子・元防衛相が初当選。初の女性都知事が誕生。
- ・金融機関が日銀に預ける当座預金の一部について、国内初となる「マイナス金利」を適用。
- ・リオデジャネイロ五輪で日本人選手が過去最多となるメダル41個を獲得。
- ・ラグビー日本代表がワールドカップ初戦で、強豪南アフリカに歴史的勝利。

2017年

▶長年の懸案事項である、技労職給料表を改善

政令市移行時に市・行政職給料表と大きな格差がある国・行政職(二)表への切替を余儀なくされた技能労務職給料表について、格差解消を10年を超えて訴え続けてきた結果、市・行政職給料表を基本とした新・技能労務職給料表への切替えを実現。

▶初の試みとなる「保育フェスティバル」の開催

保育の質の向上が求められるなか、保育園での遊びを中心に、こどもや保護者を迎え、同時に公的保育の充実を求めていくため、5月21日に「子どもは宝 岡山市の保育を考えよう 保育士がひらく保育士フェスティバル」を開催。



▶「憲法をいかにす全国統一 3000万署名」の取り組み

憲法を遵守し擁護する立場にある公務員として、「憲法をいかにす全国統一 3000万署名」の呼びかけに呼応し、組合員学習会を開催。また各市民団体とともに、署名活動などの行動に参加。

▶市民とともに公民館の在り方を考えるフォーラム開催

2017年7月に市教委が開いた説明会では、「H30年3月31日をもって中央公民館は閉館・廃止する予定」とするものの「中央公民館に替わる新たな組織」の説明は無かった。こうしたもとで公民館職員の会は、公民館の主人公である市民を置き去りにしたまま中央公民館の廃止を決めてはならないと考え、9月23日に「岡山市の公民館を考える市民フォーラム」を開催。会場一杯の参加者で成功させ、後に「公民館振興室」が新設された。

できごと

- ・ 7月5~6日を中心に「九州北部豪雨」が発生、死者38人、行方不明者3人を記録。
- ・ 共謀罪の構成要件を改め、「テロ等準備罪」を新設した改正組織犯罪処罰法が成立。
- ・ 中学3年生の最年少将棋棋士、藤井聡太四段が、プロデビューから負け知らずで30年ぶりに歴代最多連勝記録を塗り替える29連勝を達成。
- ・ 広告最大手の電通が、過労自殺した新入社員を含む4人に違法な残業をさせていた労働基準法違反罪に問われ、罰金50万円の有罪判決が下される。
- ・ 韓国で朴槿恵が大統領職を罷免され、文在寅が大統領に就任。3月に収賄、職権乱用、機密流出などの疑いで逮捕。元大統領で3人目

2018年

▶西日本豪雨災害からの復旧に向け尽力

7月に西日本を襲った豪雨が、岡山市においても家屋の全半壊や浸水など多くの被害をもたらす。非正規を含む被災職員に対し、特別休暇等の適用を行わせ、市職労においても特別見舞金制度を新設。また「被災者おうえんし隊」を結成、社協ボランティアセンター運営支援や、被災者支援に出動するなど多方面で取り組みを展開した。



▶「連合体としての市職労」へ発展的改組

労働者の権利をより一層追求していくため、6月1日から地方公務員法上の職員団体として「岡山市職員組合」を明確化し、同時に単組を包括する労働組合法上の連合組合としての「岡山市職員労働組合（市職労）」を新設した。

▶2年連続の全職員賃上げを勝ち取る

月例給・一時金の2年連続引上げ、暫定初任給額の引上げを実現。さらに、臨時職員賃金、課長級職員の管理職手当の見直しなど、非正規・管理職についても幅広く改善。

▶「ユニラン」の取り組みがスタート

毎日が仕事と家族のことで慌ただしく過ぎていくなか、ランチタイムを活用し、おしゃべりをしながら、日々働く上で起こることなどの情報交換の場として、女性部が中心となって「ユニラン（ユニオンランチ）」の取り組みをはじめた。

できごと

- ・7月に西日本豪雨災害、岡山を含む14府県で計220人を超える死者を出し、平成最悪の豪雨災害となる。9月には台風21号が近畿地方を縦断、ほか大阪北部地震、北海道地震により多数の犠牲者が出るなど、近年の災害頻発を象徴する1年に。
- ・70年ぶりの労働法制の大改正となる「働き方改革関連法」が成立。
- ・日産自動車のカルロス・ゴーン会長が、金融商品取引法違反容疑で逮捕される
- ・テニスの大坂なおみ選手が、四大大会で日本人初となる全米オープン優勝。
- ・冬季五輪平昌大会が開催。日本選手団はメダル13個を獲得し冬季の最多記録を更新。
- ・オウム真理教の松本死刑囚の刑執行。地下鉄サリン事件で死刑確定した13人の執行を終える、

2019年

▶非正規職員の継続雇用・賃金労働条件改善を勝ち取る

2020年4月の新地公法施行に伴い、新たに「会計年度任用職員」が運用されるなど、揺れ動く雇用情勢の中、2018年に発足させた「正規化闘争本部」に結集し継続してたたかい、旧嘱託・旧臨時職員であったすべての組合員について、雇用を希望する職員は全て雇用継続させ、全ての組合員の賃金の引き上げを実現。



▶6年連続の一時金引上げ、一部職種の初任給格付けの改善

一時金は6年連続で引上げ、この間計0.55月分の引上げを勝ち取った。月例給は据置を余儀なくされるも、暫定初任給額の引上げを確保。医療職給料表(2)(3)適用職種について、初任給格付けの改善を勝ち取る。

▶ジェンダー4署名の取り組みに連携

日本婦人団体連合会が行う、ジェンダー平等（性差による差別のない社会）の実現と女性の地位向上を求める4種類の署名（ジェンダー4署名）の取り組みに連携。全国から16万余の署名が集まり、国会に提出される。

▶平和のつどい 映画「あの日のオルガン」上映会

毎年行っている「平和のつどい」。8月、太平洋戦争末期53人の園児のいのちを救った「疎開保育園」をテーマにした映画「あの日のオルガン」を鑑賞。懸命に子どもを守る保育士の姿から、平和といのちの大切さを市民とともに考えた。

できごと

- ・約200年振りとなる現天皇の退位により、平成が幕を閉じ令和の時代が始まる。
- ・アニメ制作会社で放火殺人、36人が犠牲となり国内外のアニメファンに衝撃を与える。
- ・ラグビーW杯が初の日本開催。日本は史上初の8強入り。チームスローガンが流行語大賞に。
- ・参院選で与党が勝利も、改憲勢力の議席数が改憲原案の国会発議に必要な2/3を割り込む。
- ・世界遺産の沖縄・首里城で火災が発生。文化財400点以上が消失するなどの大被害に。
- ・ローマ教皇が38年ぶりに来日。長崎・広島両地を訪れ、全世界に核廃絶を強く訴える。
- ・香港で民主化を求め参加者103万人の大規模デモ。

2020年

▶新型コロナ禍のもと、公務に尽力する職員を支援

3月に岡山市内で最初の感染者が確認されるなど新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るうなか、保健医療への財政支援や医療資材の確保や一斉休校や保育園の登園自粛要請による子をもつ職員の不安解消策、3密回避策などの労使協議を進め、非正規職員を含めた特別休暇の適用や、時間外勤務手当に係る予算確保など必要な措置を行わせる。

▶最前線で奮闘する職員を守る 市立病院労組の取り組み

新型コロナ禍のもと、医療の最前線で奮闘する市立病院職員へ緊急アンケートを実施。防疫等作業手当の引上げなど労使協議を進める。



▶SNS などを通じ、コロナ過でも“つながる”取り組みが進む

全ての労働者の権利を守る取り組みに連帯。中央メーデーTwitterへの「ツイート&フォロー」の取り組みに参加。また、夏には平和の取り組みとして「ピースフラワー」を開催、職員や市民にご協力頂き150名を超える平和のメッセージが寄せられる。

▶最低生計費試算調査の取り組みに連携

岡山県労働組合会議が行う「最低生計費試算調査」の取り組みに連携、市職労として567人が参加。集計結果では、若年層が“ふつうの生活”を営むためには、時給1,657円以上が必要であることが明らかに。

できごと

- ・新型コロナウイルス感染拡大。2月下旬には小中高の一斉休校要請、4月には緊急事態宣言が発令されるなど、懸命な拡大抑制策が続けられる。
- ・東京オリンピック&パラリンピックの1年間延期が決定。スポーツ界にも大きな影響。
- ・アニメ「鬼滅の刃」が大ブレイク。劇場版で歴代最速の10日間で興行収入100億円を突破
- ・改正容器包装リサイクル法の施行により、レジ袋（プラスチック製買物袋）が有料化。
- ・大阪都構想の是非を問う住民投票、前回の投票に引き続き、反対票が賛成票を上回り否決。
- ・4～6月期の国内総生産（GDP）が、実質で前期比7.8%減、年率換算で27.8%減と戦後最大の下落幅となる。